

沼津市立病院広報誌

numa

capital

ぬまぴんぐる

vol.19
Oct.2021



シリーズ「専門家にきく」

全身麻酔について

第一麻酔科部長（兼）中央手術室部長

稲村 実穂子 医師

profile

1997年北里大学医学部を卒業。北里大学病院、板橋中央総合病院での勤務を経て、2021年4月から当院へ勤務。

趣味は何年やっても上達しないゴルフ。

専門分野・資格

・日本麻酔科学会認定指導医



全身麻酔 挿管のイラスト



脊椎麻酔・硬膜外麻酔のイラスト

麻酔には、大きく分けると、頭に効かせる「全身麻酔」、脊髄に効かせる「脊椎麻酔（下半身麻酔）」、主に手術後の痛み止めとして背中にカテーテルを挿入する「硬膜外麻酔」があります（左図参照）。その他、歯科や外

来での小手術・処置などで使われる「局所麻酔」があります。

今回は、「全身麻酔」について、第一麻酔科部長（兼）中央手術室部長の稲村医師が解説します。

Q・全身麻酔はどのような手術に用いるのですか？

A・お腹や胸、脊椎、顎や顔面、脳の手術、長時間に及ぶ手術では全身麻酔を用います。また、小児の手術では、通常、上記に関わらず全身麻酔で手術を行います。

Q・全身麻酔は安全ですか？

A・麻酔薬には、少なからず心臓や呼吸に影響を及ぼす副作用があります。このため手術中は、患者さんに生体情報モニターなど様々な機器を装着し、持続的に、心臓の動き、酸素飽和度や血圧を監視します。

麻酔を始めるときには、鼻と口にマスクを当て酸素を吸いませます。そして、意識を無くすため

の薬を点滴から入れると、いつの間にか眠ってしまいます。患者さんの意識がなくなつてから、呼吸に関しては口から喉に管を通して人工的に管理します。その際、歯が欠けたり抜けたりすることがありますので、弱い歯やグラグラしている歯がある場合は、手術前にかかじめお申し出ください。

また、手術室では、予期せぬ患者さんのアナフィラキシーショック、不整脈、心停止などの急変にも即時に対応できるように薬剤や機器を完備しています。このように、患者さんが全身麻酔で意識のない間、麻酔科医が安全に患者さんの全身状態を管理しています。

Q・持病があっても心配ありませんか？

A・患者さんの体の状況によってはリスクがあります。米国麻酔科学会全身状態分類（下表）のとおり、クラス分類が高いほ

ど手術中から術後の周術期に心停止発生率、死亡率が増加します。このため、手術を行う前に血液検査、心電図検査、胸のレ

表 米国麻酔科学会による患者の身体状態評価（ASA Physical Status）

	内容	患者の例
クラスⅠ	（手術の原因以外は）健康な患者	—
クラスⅡ	軽度ないし中等度の全身疾患がある	降圧剤の内服によりコントロールされている高血圧、食事療法中の軽度糖尿病など
クラスⅢ	重度の全身疾患がある	重症糖尿病、中・高度肺障害など
クラスⅣ	生命を脅かす重度の全身疾患がある	ショック状態の汎発性腹膜炎、多臓器不全など
クラスⅤ	手術なしでは生存不可能な瀕死状態の患者	心筋梗塞によるショック、大動脈解離など
クラスⅥ	脳死患者	臓器ドナー

ントゲン撮影を行い、検査結果、既往歴、身体活動状況を基に患者さんのリスクを十分に評価します。必要に応じて、専門科の医師にも意見を伺います。また、手術を行うときは、リスクのある患者さんには装着する機器を追加し、麻酔薬に加え、患者さんに合わせた薬を併用するなど安全対策を行います。

Q・麻酔中に目が覚めてしまうことや、麻酔から目が覚めないことはありますか？

A・麻酔薬が持続的に投与されている限りは麻酔中に目が覚めることはありません。脳波モニターを用いて麻酔の深度を見ることも可能です。

また、麻酔薬は、時間が経過すれば必ず体から排出されますので、麻酔から目が覚めないことはありません。しかし、全身麻酔で意識がない間に、脳梗塞や脳出血などの脳の機能障害が発生した場合には目が覚めない

可能性があります。ごく稀です（患者さんや手術内容でそのリスクは変わります）。

Q・お酒をたくさん飲む人は麻酔が効きにくいというのは本当ですか？

A・お酒をたくさん飲む人は、肝臓の代謝が亢進（こうしん）（取り込んだものを肝臓が必要以上に活発に活動して分解・排出）しているため、麻酔薬も代謝されやすい傾向にあります。問題になることはほとんどありません。

読者にメッセージを

医学や医療技術は日々進歩し、麻酔に関連する新しい薬剤も多く開発され、安心して麻酔を受けることができるようになりました。近年では、生活習慣病を放置したことで複数の重篤な疾患をお持ちの患者さんや高齢の患者さんが増えています。当院では、患者さんの病気を十分に把握し、より慎重に安全な麻酔管理をしていきます。

ワクチン接種後も続けよう感染予防

～かからない・うつさないために～

Q：ワクチンを接種しても、新型コロナウイルスに感染することはありますか？

ワクチンを2回接種しても新型コロナウイルスに感染することはあります。また、ワクチン接種して免疫がつくまでには個人差があり、最低でも1～2週間程度かかります。免疫がついてもワクチン接種による発症予防効果は100%ではありません。ワクチンは2回接種しますが、1回ではその効果はさらに不十分です。

Q：ワクチンを接種しても、マスクをした方が良いですか？

ワクチンに「感染症の発症を予防する」という効果は期待されていますが「他の人にうつさなくなる」という効果ははっきりわかっていませんので、ワクチン接種後も、これまでどおり「マスクの着用」「アルコール消毒と手洗いの徹底」「3密を避けた生活様式」を続けてください。また、外国の変異株への効果も現時点では不明です。



レシピ

鮭のはちみつ照り焼き ～秋の食材で免疫力UP♪～



【材料】2人分

- ・生鮭切り身…… 2切
- ・酒…………… 大さじ2
- ・はちみつ…… 大さじ2
- ・しょうゆ…… 大さじ1
- ・れんこん…… 2cm
- ・ピーマン(乱切り) …… 1個
- ・しいたけ(軸を取る) … 2枚
- ・サラダ油 …… 小さじ1

【作り方】 エネルギー：224kcal 塩分：1.5g(1人分あたり)

1. 鮭は<a>の調味液に20分浸ける。
2. れんこんは1cm幅の半月切りにする。
3. 1.の鮭を調味液から取り出し、鮭に付いた調味液を軽くふき取る。調味液は捨てずに取っておく。
4. フライパンに油を入れ、火にかける。鮭を盛り付ける時に上になる面から焼く。焦げ付きやすいので火加減に注意しながら、片面約3分ずつ焼く。同時に、フライパンの空いているところで野菜を焼く。
5. 鮭を両面焼いたら、野菜を取り出し、器に盛る。鮭が残っているフライパンに3.でとっておいいた調味液を入れ、鮭に丁寧に回しかけながら仕上げる。

おねがい

手術前には口腔ケアと禁煙を!!

口の中には数百種類もの細菌がいます。口内が清潔でない状態で手術を行うと、手術後に肺炎や感染症が起こりやすくなります。また、タバコは手術の合併症の原因になることがあります。手術前には口腔ケアを行い、禁煙に努めましょう。

今号の表紙

麻酔科医と手術室のスタッフ



沼津市立病院

NUMAZU CITY HOSPITAL

— 市民のために 共に歩む病院 —

沼津市立病院広報誌「ぬまピタル vol.19」
発行：広報委員会・病院管理課企画係
ぬまピタルバックナンバーはこちら →



〒410-0302 沼津市東権路字春ノ木 550 番地

Tel：055-924-5100 (内線 2370)

Mail：byoin-so@city.numazu.lg.jp

ホームページアドレス：https://www.numazu-hospital.shizuoka.jp/